

日付：2016年1月21日（木）午前10時—午後7時  
会場：東京慈恵会医科大学大学1号館3階講堂  
参加費：3,000円

9:00-9:50 幹事会

10:00-10:30

当番幹事挨拶

衛藤 義勝（第6回大会長）

厚生労働省健康局疾病対策課課長

松原 和徳

内閣府特命担当大臣（少子化対策担当、男女共同参画担当

及び一億総活躍担当、女性活躍担当） 加藤 勝信

10:30-11:00

会長講演：New Opening Era of Human Gene Therapy for Genetic Disease-

衛藤 義勝 (chair, 6th Meeting, Jikei Univ)

11:00-11:30 特別講演：Editing Gene Therapy—最近の進歩

三谷 幸之介（埼玉医科大学ゲノム医学研究センター）

11:30-12:10 招待講演1：血友病・先天性盲疾患遺伝子治療

Prof. Katherine High (ペンシルバニア大、Spark Co.)

12:20-13:00

教育セミナー（タカラバイオ株式会社）

13:10-17:00 遺伝病遺伝子治療の最前線—日本並びに欧米の臨床試験

13:10-14:20 (I) 網膜&神経筋疾患の遺伝子治療

1. 網膜色素変性症に対する遺伝子治療—池田康博（九州大学）

2. 筋ジストロフィーの遺伝子治療—武田伸一（国立精神・神経医療研究センター）

3. ハンチントン病の遺伝子治療—Seng Cheng (Genzyme Co. USA)

14:20-15:10 (II) 免疫疾患&血友病遺伝子治療

1. 慢性肉芽症（CGD）—河合利尚（国立成育医療研究センター）

2. 血友病Aの遺伝子治療—Barrie Carter (BioMarin Pham Co., USA)

15:10-16:30 (III) 先天性代謝異常症の遺伝子治療

1. AADC欠損症の遺伝子治療—山形 崇倫（自治医科大学）

2. ムコ多糖症 IIIA の遺伝子治療—Michaël Hocquemiller (Lysogene, France)

3. ムコ多糖症 IIIB の遺伝子治療—Charles Richard (uniQure, Netherlands)

16:30-16:40 休憩

16:40-17:25 招待講演2：先天性免疫不全症の遺伝子治療

Prof. Alessandro Aiuti M.D. PhD\*

(San Raffaele-Telethon Institute for Gene Therapy, Italy)

17:25-18:10 招待講演3：遺伝子治療法—最新の技術の進歩（仮）

Prof. Fulvio Mavilio, Scientific Director Genethon, (France)

Prof. Molecular Biology, University of Modena and Reggio Emilia, Italy

18:10-18:40 総合討論

18:40-19:00 ご挨拶

日本遺伝子細胞治療学会理事長

金田 安史（大阪大学）

第7回次回大会長

小野寺雅史

（国立成育医療研究センター）

19:30-21:00 Banquet

主催：国際協力遺伝病遺伝子治療フォーラム実行委員会

共催：NPO法人日本ライソゾーム病研究センター

後援：厚生労働科学研究費「難治性疾患克服研究事業（代表：衛藤 義勝）」

厚生労働科学研究費「成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（代表：小野寺 雅史）」

厚生労働科学研究費「難病・がん等の疾患分野の医療の実用化研究事業（代表：奥山 虎之）」

日本遺伝子細胞治療学会

日本先天代謝異常学会

問い合わせ先：第6回国際協力遺伝病遺伝子治療フォーラム 運営事務局

164-0003 東京都中野区東中野1-13-27-102

株式会社 ASSI-PRO（アシプロ）内

Tel：03-6279-3039 FAX：03-6279-3029

Mail：icfhgtgd@assi-pro.co.jp

-Open New Era of Human Gene Therapy-

The 6th International Collaboration Forum of Human Gene Therapy for Genetic Disease (ICFHGTGD)-

# 第6回国際協力遺伝病遺伝子治療フォーラム